

交通事故<sup>ゼロ</sup>0を目指して

第48回全国トラックドライバー・コンテスト

結果概要

平成28年10月24日



公益社団法人

全日本トラック協会

# コンテストの概要について

## 1. 競技日程

平成28年10月22日(土)実科競技(点検・運転技能)、学科競技  
10月23日(日)実科競技(運転技能)

## 2. 会場

自動車安全運転センター安全運転中央研修所(ひたちなか市)

## 3. 競技部門と参加人数

4トン、11トン、トレーラ、女性の4部門に合計142名が参加

## 4. 学科競技

交通法規40問、構造機能20問、運転常識20問 配点400点

## 5. 実科競技

運転技能・点検 配点600点

## 6. 天候

初日は薄日がさす曇り、二日目は晴天に恵まれた。

## 7. 特記事項

二日目に石井国土交通大臣の視察をいただいた。



選手宣誓



学科競技



石井国土交通大臣視察

# 競技結果について（1）

## ◎. 成績(全体)

( )は前回の成績

	総合得点	学科競技	実科競技
平均点	888点(886点)	353点(350点)	535点(536点)

学科競技は、平均点353点と昨年とほぼ同等であった。満点の400点が2名、(4トン、11トン各1名)、395点が4名であった。

実科競技の1日目は66名が満点の200点であった。(4トッ25名、11トッ21名、トレーラ16名、女性4名)

2日目は11名が10点減点の390点以上であった。(4トッ3名、11トッ5名、トレーラ3名)

総合得点は、9名が20点減点の980点以上であった。(4トッ1名、11トッ6名、トレーラ2名)

## ◎. 学科競技

安全な交通の方法等に関する必要な知識(交通法規、構造機能及び運転常識)の会得状況について短答式による試験を行った。

誤答の多い項目は、運転免許で無免許運転を無資格運転としたもの(正答率40%)、注視対象の理解が不確実なもの(正答率42%)、緊急時の優先を正確に把握していないもの(正答率56%)であった。

# 競技結果について (2)

## ◎. 実科競技

### ◆点検 (日常点検項目)

点検整備競技を運転技能の中に組み入れて実施した。当日に指定された項目は「前輪タイヤ」で、日常点検基準による点検を行うこととした。ほぼ全員が減点なしであったが、タイヤの溝の深さ及びディスク・ホイールの取り付け確認の不徹底があった。



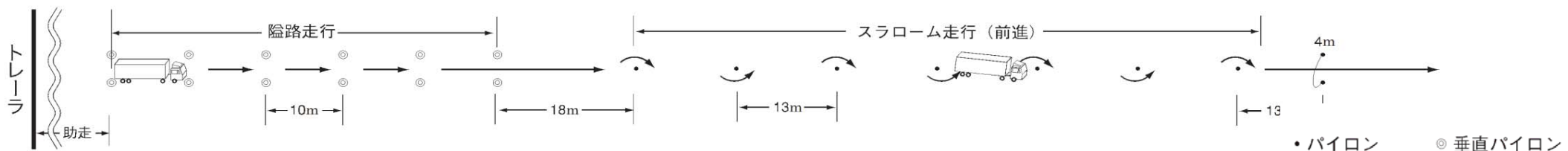
## ◎. 実科競技

### ◆運転技能 (1日目)

簡易コース(市街地)走行と前進の課題走行を行った。全体的には簡易コース走行・課題走行ともにスムーズに実施されており、全体の47%にあたる66名が減点なしであった。



課題走行 (競技時間 1 分 30 秒)



# 競技結果について (3)

## ◎. 実科競技

### ◆ 運転技能 (2日目)

法規走行と本大会のハイライトでもある後退による課題走行を行った。課題走行は5本のパイロンをバックで通過する競技で、難易度の高い技術が要求された。

#### ◇ 法規走行

右左折方法、右左折変更合図及び巻き込み防止措置の不適切な事例がみられた。指定停止場所及び赤色点滅信号での確実な停止不履行があった。

必要以上に慎重になり円滑な運転に欠ける例がみられた。

#### ◇ バックスラローム及びS字バックによる車庫入れ

接触に至る前に適切に切り返しを行う改善が図られた。

